



令和5年7月13日

大石田町議会議長
大山 二郎 殿

大石田町議会
議員 芳賀 清

議会行政視察調査報告書

- 1, 調査期日 令和5年6月27日～令和5年6月29日
- 2, 視察先 北海道①白老町 ②栗山町 ③長沼町
- 3, 調査報告
① 白老町

「北海道にある元気まち、しらおい」は面積約420k㎡人口15,895人
通年議会制と政治倫理に関する取り組みについて学ぶ。

先住民族「アイヌ」の歴史と文化がいきづくまち

白老町議会改革の歩み

平成8年に白老町行政改革推進本部設置、民間委員10名でスタート。

委員会では69の改革項目答申。その1項目に議会運営全般にわたる見直し。

その内容は、「議会が自らの権能によって自ら改革項目を目指すべき」

取り組んだ議会改革

- ① 議員定数について（22名を20名にさらに現在16名に）
- ② 議員の視察研修のあり方について
- ③ 議員の政策能力について
- ④ 町民に親しまれる議会づくりについて
- ⑤ 議会の情報公開について
- ⑥ 議員の倫理について

こうした取り組みの結果から平成18年2月通年議会が議長より諮問があり、平成19年6月議会から本格導入したもの。

臨時会の開催不要や議案の受理が随時可能、公務災害が保障されるなどのメリットがある。果たして町民の理解はどうか。年4回の定例会でも不都合はないと思う。

政治倫理に関する取り組み

過去に議員のモラルに関する事案があったようだ。

第3次議会改革・平成23年6月・議員倫理条例の改正

- ① 自浄作用の明記・議員責務や政治倫理基準など
- ② 兼職・兼業の届け出
- ③ 議会活動の公表+

② 誰もが笑顔で、安心して暮すまち・栗山町

面積約204K㎡ 人口11,762人が暮すまち。

野球WBCで世界一に導いた栗山英樹監督が暮すまちでもある。先日我々が訪問の直前に町民栄誉賞が栗山監督に授与され、優勝祝うパレードが開催され、町民より多い14,000人が駆け付けたことが全国誌で紹介されていました。栗山町は議会改革を全国に先駆けて実施しており、基本条例の制定も早く以前に訪問しており今回2度目の訪問になった。

議会改革の歩みはその後も積極的に続けており、議会モニターや議会サポーター導入、議会基本条例平成18年制定から、10回の改定を続けており、改革の歩みはさらにスピードアップしているように感じた。特に正副議長志望者の所信表明の導入、町政監視型から政策提案議会へ進化し続けている。全国トップクラスの議会であることは間違いない。町長と執行部に反問権を早期から付与し、議員の町政への質問のレベルアップを図っている。わが議会も大いに見習うべきことは多いと感じた。議員なり手不足対策として、議員の学校を開設し議会として、次世代の議員発掘、育成する事業に取り組み、令和5年2月に受講者19名を集めて開校。今年4月改選では受講生から3名立候補し、全員当選している。見事な取り組みであった。

③ 長沼町は面積169K㎡のうち約9割が耕地面積で、人口約1万人が暮らすまち。

札幌に車で50分、千歳空港に30分、隣町に北海道ボールパークのある北広島市があり、交流・関係人口の拡大には非常に恵まれた自治体と思う。人を呼び込めるホテルや道の駅、キャメル珈琲の工場が稼働したり、新施設が続々とできている。視察目的は、ワーケーションを活用した移住施策と関係人口拡大の取組みについて。ワーケーションとは「work(仕事)とvacation(休暇)」を組み合わせた造語。色々と関係人口の拡大事業を模索しながらまだ始まったばかりだが、立地が恵まれているので、成果は今後期待される場所である。